

裁判所が断罪 組織ぐるみの違法捜査

小沢事件で特捜検事が

デタラメ調書がことごとく却下されたことで、「小沢一郎との全面戦争」をブチ上げた特捜検察の「敗北」は決定的となった。振り返りにあった検察の威信は失墜、世間から痛烈批判を浴びているが、謀略捜査の「代償」を払わされるのはこれからだ。小沢捜査に突っ走ったチンピラ検事や上層部が一斉逮捕される可能性が出てきた――。

地検特捜部が真つ青に「偽有印公文書作成」などなっているのは、調書が「の罪で市民団体から刑事全面却下されたからだけ」が発せられているが、一介ではない。田代政弘検事のヒラ検事が、独断でこのヤクザまがいの取り調べるはずがない。本人も裁

「違法不当な取り調べは組織的に行われた」と断言したからだ。すでに田代検事は「虚言」で「上司の指示で」と



イモづる逮捕も
(佐久間、吉田、
田代＝左から)

授の郷
ろ。「裁判
ものだと
た以上
を放つ
さまけ
ささる
ろ。虚
査会を
から、
業務妨
もある
よって
得ます
も、虚
告発さ
だけで

が捕まるゾ

授の郷原信郎氏がこう言う。

「裁判所から『組織的なものだった』と認定された以上、検察組織もこれを放っておくわけにはいきません。捜査に乗り出さざるを得ないでしょう。虚偽の調書で検察審査会をタマしたわけですから、組織ぐるみで偽計業務妨害罪となる可能性もある。裁判所の判断によつては公訴棄却もあり得ます。検事についても、虚偽公文書罪で刑事告発されている田代検事だけでは済まないでしょう。

笠間検事総長も覚悟を示唆



怒り心頭の笠間検事総長

う。政治的影響を考えると、3人の特捜検事が逮捕された大阪地検の証拠改ざん事件とは比較になりませんからね。捜査対

象はもつと上の方にまで及ぶと思います」

大阪地検の一件でさえ、フロッピーを改ざんした特捜のエース・前田で無駄死にはしない。恒彦検事のほか、直属の

れらしいことをほのめかしているという。

3月の退任までに今回の不祥事の後始末、つまり暴走検事たちの摘発を考えていると思われます。もともと笠間氏は、10年12月の検事総長就任の前から、小沢捜査には反対していた人物です。彼が『無駄死にはしない』とまで言っているのだから、相当なことが起こるでしょう」（司法関係者）

田代検事を刑事告発した市民団体は、きのう（21日）、検察に2回目の捜査要請書を提出した。すでに告発は受理され、最高検から東京地検刑事部に回されているから、近く捜査が始まるのは確実。逮捕者がゾロゾロ出れば、特捜部は壊滅必至だ。

た検察幹部の逮捕まで視野に入っている。実際、検察トップの笠間治雄検事総長が、そ

3月の退任までに今回の不祥事の後始末、つまり暴走検事たちの摘発を考えていると思われます。もともと笠間氏は、10年12月の検事総長就任の前から、小沢捜査には反対していた人物です。彼が『無駄死にはしない』とまで言っているのだから、相当なことが起こるでしょう」（司法関係者）